

# オリエンテーション ガイドブックの主な改訂 について

評価者フォローアップ研修(共通コース)

令和7年4月開催

東京都福祉サービス評価推進機構

# 1 主な改訂

# (1) V 共通評価項目の解説 (サービス項目一覧)

項目	2024年版(P136)	2025年版(P142)
6-3-3	利用者に関する記録が行われ、 <u>管理体制を確立している</u>	利用者に関する記録を適切に作成する体制を確立している
6-3-4-2	<u>申し送り・引継ぎ等により、</u> 利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	利用者に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている

## (2) V 共通評価項目の解説(3-2-2)

2025年版(P159～162)

### こども性暴力防止法成立(R6.6制定)

こどもの性被害をめぐる現状を踏まえ、児童福祉サービス事業者等従事者による児童対象性暴力等の防止等の措置を講じることが義務付けられるなど、子ども性暴力防止に向けた総合的な対策が推進されている。

### 「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン(R5.5)」策定

不適切な保育や虐待等の考え方の明確化、保育所等における虐待等の防止、発生時の対応が示された。

#### ■評価項目3-2-2

「虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている」

#### 【 評価項目のねらい 】

この項目では、虐待等に関して組織的な予防と対応をしているかを確認します。

#### 【 標準項目の確認ポイント 】

標準項目	確認ポイント
□1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	・利用者との日常的な関わりの中で、自覚の有無にかかわらず行われる不適切な対応及び虐待について、組織として防止対策（予防・再発防止）を検討し、対策を講じているかを確認する。（事業所内虐待防止への対策）
□2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	・虐待被害者（若しくはその疑いのある利用者）への、適切な支援を行うために、関係機関と連携し、対応をしているか。事例がない場合でも、虐待被害者がいないという事実をどのように確認しているのかと共に、事例が発生した場合の関係機関との連携や対応が想定されているかを確認する。（事業所内虐待及び家庭等での虐待への対策）

#### 【 評価を行う上での補足事項 】

○ ここでは、虐待等の早期発見に努める体制が整っているかに着目します。

追記

# (2) V 共通評価項目の解説(5-1-4)

2025年版(P176～177)

## 育児・介護休業法の改正(R7.4.1施行)

男女とも仕事と育児・介護を両立できるよう、雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化などの取り組みがさらに強化された

### ■評価項目5-1-4

「職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる」

#### 【 評価項目のねらい 】

この項目では、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、事業所が組織力を発揮するために、人材が定着できるよう職員一人ひとりにとって働きやすい職場になっているかについて評価します。

#### 【 標準項目の確認ポイント 】

標準項目	確認ポイント
□ 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	・事業所の特性（サービス提供、補助金等の仕組み）を踏まえた上で、職員の育成・評価・処遇（賃金、昇進・昇格等）や称賛など金銭以外のものを連動させているか確認する。 ・サービス種別や規模等に応じて、職員の働く意欲の維持・向上につながるよう、評価と育成や処遇等を連動させる工夫をしているかを確認する。
□ 2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	・職員の有給休暇の取得率や時間外労働データを定期的にチェックすることや、職場の設備面等の環境・職員の健康状態・ストレスなどについて意向・意見を聴取することなどで就業状況を把握し、その結果に基づいた改善への取り組みを行っているかを確認する。 *就業状況の把握を行っていない場合や、把握した内容と関連した取り組みが確認できない場合は「実施なし」とする。
□ 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	・職員の意識を定期・不定期の個別面談やアンケート等で把握し、その結果に基づいた意欲と働きがいの向上への取り組みを行っているかを確認する。 *職員の意識を把握していない場合や、把握した内容と関連した取り組みが確認できない場合は「実施なし」とする。
□ 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	・職員定着の重要な要素である良好な人間関係の構築について、事業所がどのように考え、取り組みを実施しているかを確認する。

#### 【 評価を行う上での補足事項 】

○ 2019年4月1日から働き方改革関連法が施行されました。労働者がそれぞれの事情に応じた多

追記

### (3) VII 参考資料(通知について)

2024年版(目次)	2025年版(目次)(P5～6)
令和6年度東京都福祉サービス第三者評価の評価手法について(通知)	令和7年度東京都福祉サービス第三者評価の評価手法について(通知)
令和6年度東京都福祉サービス第三者評価の共通評価項目について(通知)	令和7年度東京都福祉サービス第三者評価の共通評価項目について(通知)
困難な問題を抱える女性への支援に関する法律施行に伴う評価対象福祉サービス名称の変更について(通知)	削除